里地里山保全再生モデル事業(京都府北部地域)地域戦略



目 次

里地里山保全再生モデル事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
里地里山とは	
里地里山保全再生モデル事業	
地域戦略の検討経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
地域戦略の策定方法	
懇談会構成団体	
京都府北部地域の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
京都府北部地域の概要 1 位置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
京都府北部地域の概要 2 自然環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
地域戦略[宮津地区] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
宮津地区の里地里山・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
里地里山保全再生の目標と取り組み内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
宮津地区の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
地域戦略[大江地区] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	8
- 大江地区の里地里山······	
里地里山保全再生の目標と取り組み内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
地域戦略 [綾部地区] ·········· 1	1
- 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3	
接部地区の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	
地域戦略[全体構想]	4

地域戦略[個別事業] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
- 1 地域全体での取り組み(人材・資源・情報のネットワーク体制づくり) ・・・ 15
- 2 地域全体での取り組み(里地里山保全再生に関わる人材育成)・・・・・・・ 15
- 3 地域全体での取り組み(エネルギー循環システムの推進) · · · · · · · · · · 16
地域文化の継承を目指した里山の循環的利用(笹葺き民家再生)・・・・・・・・16
自然体験フィールドとしての活用による主体形成・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
竹林の拡大防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 1 棚田・里地景観の再生(NPO等との連携) · · · · · · · · · · · · · · · · 18
- 2 棚田・里地景観の再生(棚田の保全・活用)
- 3 棚田・里地景観の再生(環境保全型圃場整備)
- 1 野生鳥獣との共生(獣害対策に向けた取り組み)・・・・・・・・・・・・・・・・19
- 2 野生鳥獣との共生(人とケモノの境界づくり)
地域戦略 [予定表] · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

里地里山保全再生モデル事業

里地里山とは

- ・都市地域と奥山地域との中間に位置し、農林業等の様々な人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域。
- ・雑木林、水田や畑、ため池、草原といった身近な自然に恵まれ、日本のふるさとの原風景を 思わせるような地域。
- ・国土の約4割程度(1,600万 ha)を占め、メダカ等の希少種や、トンボ、カエル、カタクリなど様々な生物を育む、生物多様性保全上重要な地域。全国の希少種集中分布地域の5割以上が、里地里山に該当。
- ・身近な自然とのふれあいの場、自然環境教育のフィールド。
- ・人間が手を加えて管理することで、特有の環境が形成され、維持されてきた地域。

里地里山の危機

近年、雑木林(二次林)を薪炭林などに利用する機会がなくなり、農山村では過疎化、高齢化による管理放棄、都市近郊では、開発等の土地利用転換が急激に進み、里地里山の喪失、質の低下が進む。

新・生物多様性国家戦略

こうした状況を受け、「新・生物多様性国家戦略」(平成14年3月策定)では、生物多様性を脅かす3つの危機の一つに「里地里山の危機」が位置づけられ、重点施策の一つとして、「里地里山の保全と持続可能な利用」が掲げられる。

里地里山保全再生モデル事業

- ・環境省は、「新・生物多様性国家戦略」を踏まえ、平成16年度から、里地里山保全再生モデル事業を実施。
- ・全国の里地里山の代表的なタイプごとに、行政、専門家、住民、保全活動団体などが参加するモデル事業を実施し、里地里山の保全・再生に取り組むための実践的な手法や体制、里地 里山の普及啓発・環境学習活動等のあり方について、具体的な検討を進めるもの。
- ・これらのモデル的な取り組みを全国に発信することにより、全国各地の様々な主体による里地里山保全活動を促進する予定。

モデル事業実施地域

モデル事業実施地域は、植生変化が進行しやすく、里地里山管理の緊急性の高い4つのブロック コナラ林(東日本)ブロック、 コナラ林(西日本)ブロック、 アカマツ林ブロック、 シイカシブロック萌芽林から、各ブロックを特徴付ける生態特性、社会特性(立地特性など)や、里地里山保全活動団体の実態等を踏まえ、1地域づつ、計4地域を選定。

- ・神奈川西部地域(秦野市) ・京都北部・福地地域(宮津市、綾部市、福知山市、越前市)
- ・兵庫南部地域(三田市)・熊本南部地域(氷川町)



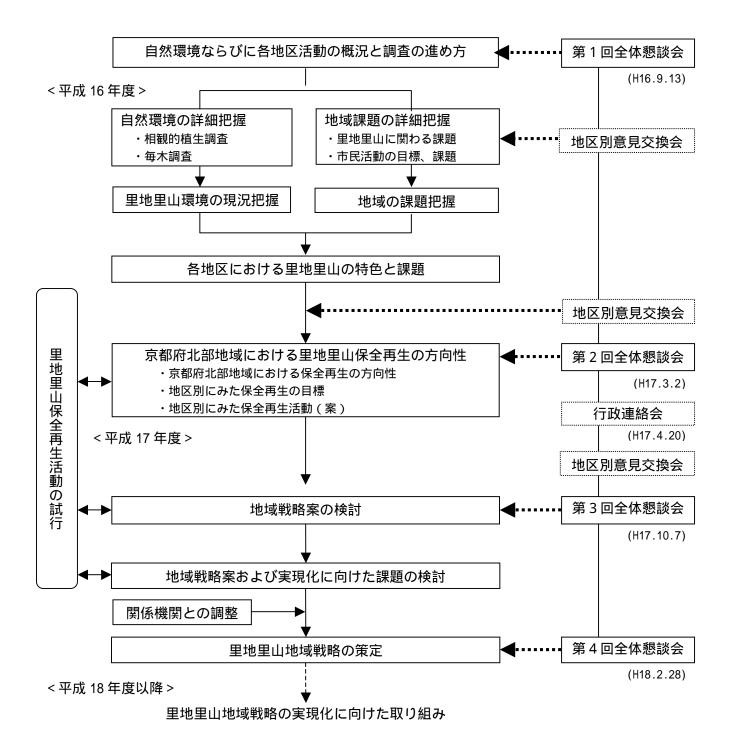
管理の緊急性の高い4ブロックの生態特性・社会特性等

ブロック名	ブロック の範囲	ブロックの生態特性と管理の課 題	ブロックの社会特性	モデル事業 実施地域			
[1]コナラ林(東日 本)ブロック	関東、東 北東部等	都市近郊での二次林(雑木林)が 特徴的で、放置による植生変化、 タケ侵入が緊急の課題。	特に関東では都市近郊 に残された里地里山 で、多くの保全活動団 体が活躍。	神奈川西部 地域			
[2]コナラ林(西日 本)ブロック	北陸、山 陰等	農地と二次林の混在が特徴的 で、その放置が課題。農地等に 依存するサンショウウオ等が多 く分布。	過疎化が進んでいる奥山に近い里地里山が多い。	京都北部·福 井地域			
[3]アカマツ林ブ ロック	瀬戸内、 近畿等	都市近郊のため池が特徴的で、 トンボ類や多くの希少種が生 息。マツ枯れに対応した管理が 課題。	比較的都市に近い里地 里山が多く、開発等土 地利用転換が進行。	兵庫南部地域			
[4]シイカシ萌芽 林ブロック	九州、四 国南部等	温暖な気候のため、二次林に侵入する竹林の管理が課題。	都市近郊から奥山まで 多様な立地特性の里地 里山が存在。	熊本南部地 域			

地域戦略の検討経緯

地域戦略の策定方法

京都府北部地域の地域戦略の策定に当たっては、保全活動団体、地元住民の団体、農林業関係者、宮津市、福知山市(旧大江町) 綾部市、京都府、国の関係省庁(環境省、農林水産省、林野庁、国土交通省) 専門家等で構成する懇談会を設置し、対象地域の里地里山の現況、課題、具体的な事業案等について、検討を行いました。また、京都府北部地域を3つの地区にわけ、地区別意見交換会を開催して、住民の意見を聴取しました。さらに、森林整備や情報発信等、いくつかの事業については試行活動として取り組み、本格的な実施に向けて、課題を把握しました。



懇談会構成団体

恋伙女俩戏团件	
専門家	京都大学大学院地球環境学堂教授 森本幸裕
	京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科助教授 深町加津枝
地域活動団体	(宮津地区) NPO 法人 里山ネットワーク世屋
	NPO 法人 地球デザインスクール
	(大江地区)棚田農業体験ツアー実行委員会
	(綾部地区)里山ねっと・あやべ
自治体関係	宮津市農林水産課農政係
	宮津市商工観光課観光リゾート係
	宮津市商工観光課観光交流係
	宮津市建設部管理調整課
	福知山市大江支所経営戦略係
	福知山市農林部農村整備課
	綾部市産業・団地販売部農林課
京都府	京都府企画環境部企画総務課
	京都府農林水産部耕地課
	京都府農林水産部林務課
	京都府土木建築部公園緑地課
	中丹広域振興局企画総務部企画振興室
	中丹広域振興局農林商工部企画調整室
	中丹広域振興局農林商工部農林整備室
	中丹東土木事務所企画調整室
	中丹東土木事務所管理室
	中丹西土木事務所企画調整担当
	丹後広域振興局企画総務部総務室
	丹後保健所環境衛生室
	丹後保健所衛生室
	丹後広域振興局農林商工部農林整備室
	丹後土木事務所企画調整室
	丹後土木事務所道路計画室
各省庁	農林水産省農村振興局整備部地域整備課
	農林水産省近畿農政局地域整備課
	林野庁森林整備部計画課
	国土交通省都市・地域整備局公園緑地課
	環境省自然環境局自然環境計画課
	環境省近畿地方環境事務所
事務局等	財団法人国立公園協会
	株式会社スペースビジョン研究所

部署名は平成 18年3月現在

京都府北部地域の概要

京都府北部地域の概要1 位置

京都北部地域は、日本海に突き出した丹後半島から由良川流域までの地域で、日本海型気候に属します。丹後半島中央部の安山岩地帯、大江山連峰の蛇紋岩地帯等が自然環境の基盤となって地域を特徴付けています。山間部にはナラ・シデ等のまとまった広葉樹林が残され、山、集落、水田等が一体となった典型的な里山景観が見られます。また天橋立や大江山等の観光資源を有するほか、大陸文化の影響を受けて独自の歴史・文化を築いてきた地域です。現在では、農林漁業や機業等の産業の衰退、高齢化・過疎化の進行が課題となり、新たな地域活性化の方策が求められています。

モデル地区(宮津地区・大江地区・綾部地区)

このような特徴をもつ京都北部地域において、宮津地区、大江地区、綾部地区の3地区をモデル地区として地域戦略策定のための具体的な検討を進めました。特に、自然環境の概況把握や地域戦略の検討については、宮津地区は上世屋周辺、大江地区は毛原周辺、綾部地区は鍛治屋・小畑・小西周辺を中心としました。

3地区の概要

3-6E-07M2							
地区名	宮津地区	大江地区	綾部地区				
植生構造からみた位	丹後半島中央部	大江山連峰部	由良川中流域				
置							
中心集落	宮津市上世屋	福知山市大江町毛原	綾部市鍛治屋・小畑・小				
(人口・世帯)	(29 人・17 世帯)	(16 世帯)	西				
			(811 人・276 世帯)				
特色	・里山ブナ林	・日本の棚田百選	・典型的里山景観				
(キーワード)	・笹葺き民家	・大江山	・丘陵地				
	・藤織	・稀少な自然環境	・都市農村交流				
	・棚田景観	・自然体験施設	・林産物利用				
	・稀少な自然環境		・ため池や水路				
主な市民活動団体	・NPO 法人里山ネットワー	・毛原集落自治会	・NPO 法人里山ねっとあや				
	ク世屋	・棚田農業体験ツアー実	ベ				
	・NPO 法人地球デザインス	行委員会	・ふるさと振興組合空山				
	クール	・大江山自然愛好会	の里				
	・NPO 法人丹後の自然を守		・空山グループ				
	る会						
	・NPO 法人美しいふるさと						
	を創る会						
	・立命館大学「丹後村お						
	こし開発チーム」						

人口・世帯は宮津地区は「平成 15 年度版宮津市統計書(平成 15 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳人口)」より、大江地区は 2000 年世界農林

